

日本医療情報学会
第17回上級医療情報技師能力検定試験
(2023年度)

一次試験問題冊子
(午後Ⅱ)

受検番号：_____

氏 名：_____

2023年8月20日

課 題

以下の文章を読み、医療 DX の推進についての政府の方針、現状の課題、筆者の意見等を踏まえた上で、あなたが上級医療情報技師として貢献できることを述べなさい。

解答は、800文字以上、1,000文字以内で論述しなさい。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行も4年目を迎えた。このCOVID-19のたび重なるパンデミックは、例えば、脆弱な医療器材のグローバルサプライチェーンや、デジタル化されていない医療情報連携、患者数に依存した病院経営など、さまざまな医療の問題点を浮き彫りにし、現在もなおその解決策を模索している。COVID-19の前後で、国民の医療、働き方や個人情報に対する意識も変化し始めており、医師と患者を結ぶ遠隔診療が部分的に解禁されただけではなく、マイナンバーカードの普及などが進んでいる。これらの医療を受ける側である市民の意識の変化は、今後の医療DXを進める環境にも大きく影響しており、医療DX推進の一つの契機となるであろう。

2022年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2022 新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～（骨太方針2022）」が閣議決定された。その中で注目する点としては、「全国医療情報プラットフォームの創設」「電子カルテ情報の標準化等」「診療報酬改定DX」が列挙されており、「医療DX推進本部」や「医療情報の利活用について法制上の措置」などの記載から、政府の強い覚悟を感じずにはいられない。今後、これらの具体的な政策については、関係省庁を中心に決定されていくであろう。そこに日本医療情報学会が医療情報領域のシンクタンクとして、臨床現場と医療情報の専門家の意見を集約し、現実的で具体的な提案をすることなどが必要であると考えている。

もう一点注目すべき大きな医療システムの変化として、2024年からの医師の働き方改革が待ったなしの状態となっている。この医師の働き方改革では、医師の時間外労働に上限が設定され、看護師などほかの医療職種へのタスク・シェアやタスク・シフトのほか、積極的なICTの導入が求められることになった。「医療DX」と「医師の働き方改革」は連動しており、医療情報の実務として十分に臨床で活用できるシステムを構築・運用することはもちろんのこと、その実務を支える医療情報学研究と次世代の実務者・研究者の育成も不可欠である。

医療DXを推進する人材育成について、特に医療情報技師育成部会による医療情報技師の役割について考えてみたい。最近では、医療情報技師が医療情報システムの導入・管理だけでなく、医師の業務支援に携わることが多くなった。近年の医療DXと医師の働き方改革は、医療情報技師が活躍できる大きなチャンスと考えられる。新しい時代の医療情報技師には、臨床で生じているさまざまな問題の要点を把握し、近年社会問題となっているランサムウェアに対応できるセキュリティ能力に加え、AIをはじめとした情報技術を応用する能力がますます要求されることであろう。医療情報技師が今まで以上に臨床に携わることによって、医療と情報を有機的につなぎ、医療DXを推進する役割を担うことも可能であると考えている。

出典：小笠原克彦「医療DXのために医療情報学および日本医療情報学会が果たすべき役割」
IT VISION NO.47（2023）より抜粋・改変

受検上の注意（午後Ⅱ）

1. 一般的注意事項

- 座席の受検番号を確かめ、机に貼付された受検番号のところに受検票を並べて置いてください。
- 机の上には受検票、BまたはHBの鉛筆（黒）、消しゴム、鉛筆削り、時計機能だけの時計、眼鏡以外のものを置いてはいけません。
- 解答は、小論文方式になっています。

2. 携帯電話・電卓などの使用禁止

- 時計のアラームは使用しないでください。
- 電卓などの計算機能つき機器の使用は禁止します。
- 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等は、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。

3. 問題冊子・解答用紙について

- 問題冊子は、指示があるまで開かないでください。
- 解答用紙の所定の箇所に受検番号、氏名、生年月日を書いてください。なお、受検番号を記入する欄は2箇所ありますので、注意してください。
- 受検番号および氏名の未記入は採点対象外（不合格）となります。
- 問題冊子に落丁または不鮮明な箇所がある場合は、手をあげて監督者に合図してください。
- 問題冊子は持ち帰ってください（机の上に上に残された問題冊子は処分します）。

4. 途中退出等について

- 試験中、体調が悪くなった場合やトイレに行きたくなった場合は、手をあげて監督者の指示にしたがってください。試験時間内に回復すれば試験場に戻ることができます。ただし、試験時間は延長しません。
- 試験開始後30分経過した後から、試験終了10分前までは退出可能です。試験終了前に退出する場合は、手をあげて監督者の指示にしたがってください。

5. 試験終了について

- 試験終了の合図とともに鉛筆を置き、解答用紙の表を下にして机の上に置いてください。
- 監督者が解答用紙を回収します。監督者から指示があるまでは席を立たないでください。

6. 不正行為について

- 試験開始後の私語や不審な行動は不正行為と見なします。不正行為を行った場合は、退場を命じるとともに、不合格とします。